

関 係 機 関 の 長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長
後 藤 景 子 (公 印 省 略)

教員の公募について (依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり一般教科 (数学) の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしく願い申し上げます。

記

1. 職名・人員 助教 1名
2. 所属学科 一般教科 (数学)
3. 担当科目 数学, および数学関連科目
4. 応募資格 (1) 本校の教育方針に賛同される方で、本校在籍の教員および非常勤講師と協力して学生教育を進められる方。
(2) 本校の数学教員の業務に積極的に取り組める方。
(3) 博士の学位を有する方。(着任時までに取得見込みの方を含む。)
(4) 過去5年以内に1編以上の著書・査読付き論文等を有する方。
(5) 大学, 高専, 高等学校などでの教育経験を有する方・高等学校教諭の免許状を有する方が望ましい。
(6) ネットワーク管理のできる方が望ましい。
5. 採用予定日 平成 31 年 4 月 1 日
6. 提出書類 以下(1), (2)および(3)の「概要」については、本校ホームページ>「採用情報」からダウンロードできる様式を使用すること。また、(5)から(9)の書式は任意とする。
なお、(1)から(9)の書類については A4 片面印刷で提出すること。(6)と(7)は合わせて A4 片面印刷 1 枚とすること。
(1) 履歴書：氏名, 現住所 (連絡先) は、自筆で記入。
 - ・民間企業等における勤務経験や数か月以上の海外滞在経験がある場合はその内容を簡単に記載。
 - ・ネットワーク関係のサーバー管理経験があれば具体的に記載。(2) 研究業績一覧
- (3) 主要著書・論文等の別刷 (3 編以内, 写し可) および各々の概要 (DOI (Digital Object Identifier) を取得している場合は付記)
- (4) 最終学歴または最終の学位の証明となるもの。もしくは学位記の写し
- (5) 教育歴一覧：
機関名・授業科目・週当りの時間数・期間を記入し、シラバスや授業アンケート結果があれば添付。
- (6) 高等専門学校における数学教育に対する抱負。
 - ・他教科も指導可能の場合はそれも含んだ抱負。(7) 高等専門学校における教科教育指導以外の学生指導に対する抱負。
- (8) 着任後の研究計画：
数学を専門としない教員も選考に加わります。他分野の者にもできるだけわかるように記載願います。(図版・写真の挿入も可。また、カラー版も可。)

- (9) 照会可能な方2名の氏名および所属機関・電子メールを含む連絡先
 (10) 推薦者がいる場合は推薦書
 ※(1), (2), (3), (5), (6), (7), (8)の書類は固有名詞を除き日本語で記載して下さい。
 ※提出頂いた書類は原則お返しませんが、返却を希望される場合は、宛名、送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封して下さい。
 ※後日、着任手続きのために、電子ファイル形式で書類提出のお願いをすることがあります。
7. 応募締切 平成30年12月13日(木) 必着
8. 選考方法 第1次選考：書類審査
 第2次選考：第1次選考合格者を対象に面接および模擬授業審査
 (平成31年1月12日頃を予定)
 ※面接および模擬授業審査に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。
 ※本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績等が同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。
9. 問い合わせ先 奈良工業高等専門学校 一般教科主任 鍵本 有理
 Tel:0743-55-6057, FAX:0743-55-6019
 E-mail:koubo30m@libe.nara-k.ac.jp
10. 書類提出先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町2番地
 奈良工業高等専門学校 総務課人事係 Tel:0743-55-6014
 (封筒に「数学担当教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。)
11. その他 応募に係る個人情報、本校の教員採用のために利用するものであり、第三者に提供または公表することはありません。

■奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科(5年)と専攻科(2年)があります。高専はその教育目標や学生の年齢層(本科:15~20歳、専攻科:20~22歳)の幅広さ等から、大学とも高等学校とも異なる点があり教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導など、多様な業務を要求されます。以下では奈良高専の教員(一般教科)の教科指導以外の職務について、主な職務の概要を記します。

① 校務分掌

学級担任としては一学級40人程度の学生への支援を行います。すべての教員は学級担任や各種委員会の委員として学校運営に参加します。

② 研究

研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されます。個室の研究室があり研究費の予算立てもあります。一方、業績に関し数年に一度は必ず外部評価が実施されます。

③ クラブ顧問

すべての教員がクラブ顧問として課外活動指導を行い、校外競技参加時の引率も行います。

④ 学生寮の宿日直

原則、全教員が交代で学生寮宿直または日直を行い、指導、巡回・点呼、緊急時の対応などにあたっています。

⑤ その他(数学教員の場合)

本科入学試験、専攻科入学試験、4年次編入学試験等、年間に複数回の入学試験問題作成と採点などの入試業務、本校学生の大学編入学試験、高専専攻科入学試験受験への対応も行います。

■奈良高専における数学教育について

本校では入学当初から、幅広い工学的知識を身につけ実践力を備えた技術者を養成するための教育を始めます。そのためにできるだけ早く数学の基礎知識を身につけ、数学的思考に慣れ、自主的、継続的に学習していく力を身につけられるよう教育を行っています。

本校の1年次では数学の基礎として初等関数、図形と方程式・不等式、集合と論理、場合の数などを学びます。2年次には微分積分、線形代数の基礎を学びます。ここまででおよそ高等学校の履修内容を終えます。3年次には授業時間の半分以上が工学の専門科目となりますので、それに対応できる数学力をつけていることが必要です。3年次は大学工学部初年程度の微分積分、線形代数を学び、4年次は応用数学として、複素関数、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計を学びます。

このようなカリキュラムのもと、5年間にわたって学生達の学力を継続して高めていくためには、どの学年に対しても授業中の説明を丁寧に行うことはもとより、こまめに課題や小テストを実施したうえで、オフィスアワーや補習授業などにおいて、放課後に指導することも必要です。学生の意欲を引き出すため、数学と専門教科とのつながりも意識しながらの授業や、アクティブラーニングの実践も必要です。将来的には科学系・工学系との融合科目を開設し、担当する可能性もあります。一方で、学生からの工学専門科目や卒業研究、専攻科の特別研究に関わる数学的な質問への対応、大学編入学試験や高専専攻科入学試験に関わる対応もしています。したがって教員は、自らの専門だけでなく幅広い興味を持っていることが期待されています。

なお、社会貢献として学内外の科学イベントや公開講座の企画運営を担当することもあります。

これからの本校の数学教育に、他の教員と協力しつつ積極的に取り組んで頂ける方の応募を望んでいます。